

2005年に、戦時性暴力の根絶を目指し、市民の力で建設され運営されている資料館です。日本の戦争加害のなかでも、とりわけ歪曲されている日本軍「慰安婦」制度についてその加害の実態を記録し、被害者の証言を記憶するアクティブ・ミュージアムです。

建物は、早稲田奉仕園の敷地のなかにある、アバコビルの2階の奥まったところにあります。エントランスの赤い壁には被害者155人のプロフィールが展示され、そのまなざしは日本の戦争責任を問い続けています。

館内には特別展コーナーと常設展示コーナーがあり、図書資料の閲覧やビデオの視聴もできます。特別展は毎年テーマをきめたパネル展示を行っています。運動団体や、専門家たちの協力で作られたパネルは国内外から高い評価を得ています。

日本軍「慰安婦」被害者への戦争責任を放置してきた、日本の戦後責任を改めて考え、解決にむけて運動をつくる拠点でありたい、現代の紛争下での性暴力も無くしていきたい—という思いをこめたミュージアム運動を展開しています。

日朝日韓問題と「在日」問題に心を痛めた市民たちが、日本と朝鮮半島の間の豊かな文化交流の歴史館をつくることを目標に11年間活動を展開。2001年に新宿・職安通り第2韓国広場ビルにオープン。館の目的は、交流の歴史を学び、民族差別のない共生社会をめざし、活動することです。

大久保通り、職安通りは、もともと在日朝鮮人の居住が多かったが、近年、韓流ブームと称された韓国文化の流入で「コリアンタウン」として観光地化しました。その一角の韓国食品を扱うスーパー「韓国広場」の通りを隔てた前にあります。

常設展は古代から近現代までの交流の歴史。他に「特別展」として、さまざまな「テーマ」で、年に数回展示や講演会を行っています。主な展示として「関東大震災と朝鮮人」「失われた朝鮮文化遺産」「韓国併合100年と在日韓国・朝鮮人」等、主に韓国・朝鮮人の問題を追及しています。他にハンゲル教室やチマ・チョゴリの試着等も行っています。

## フィールドワーク・ガイドをみなさまへ

世界一の乗降客を誇る新宿駅の北東に位置する大久保、戸山、早稲田は様々な顔をもった地域です。戦前は陸軍の中樞施設・教育施設が集中する軍都でもありました。そして現在は、日韓の歴史交流を伝える高麗博物館や、日本軍「慰安婦」制度の被害者の証言を記録する私たちの戦争と平和資料館(wam)が市民の手で建設運営されているところでもあります。この2つのミュージアムをつなぐところに、「軍医学校で発見された人骨問題を究明する会」が調査研究しているフィールドがあります。

この3ヶ所をつないで歩く道は、過去と現在そして未来について考え、思いをはせることができる貴重な散歩道です。日本の戦争の加害を見据えながら、その責任を受け止め活動する市民の営みを、フィールドワークで体験していただきつつ、春は桜、夏は緑陰、秋は紅葉、そしてコリアンタウンの活気に満ちた繁華街も、同時に楽しんでいただきたいと思います。このフィールドワーク・ガイドをつくりました。

### アクティブ・ミュージアム 私たちの戦争と平和資料館

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F  
(TEL) 03-3202-4633 (FAX) 03-3202-4634  
E-mail wam@wam-peace.org  
<http://www.wam-peace.org>

### NPO法人 高麗博物館 市民がつくる日本・コリア交流の歴史館

〒169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1 第二韓国広場ビル7F  
(TEL) 03-5272-3510 (FAX) 03-3207-0533  
E-mail kourai@mx7.ttcn.ne.jp  
<http://www.40net.jp/~kourai/>

### 軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会

代表 常石敬一  
〒180-0006 東京都武蔵野市中町3-6-21-103 (鳥居方)  
(TEL) 080-3157-1858 (FAX) 0422-36-4357  
E-mail jinkotsu731@yahoo.co.jp  
[http://www.geocities.jp/technopolis\\_9073/](http://www.geocities.jp/technopolis_9073/)  
◆ご希望があればガイドすることも出来ますのでご連絡下さい。  
(ガイド料 5000円)

## もう一つの 新宿

# 日本の戦争加害と共生を考える フィールドワーク・ガイド

大久保 ⇄ 戸山 ⇄ 早稲田

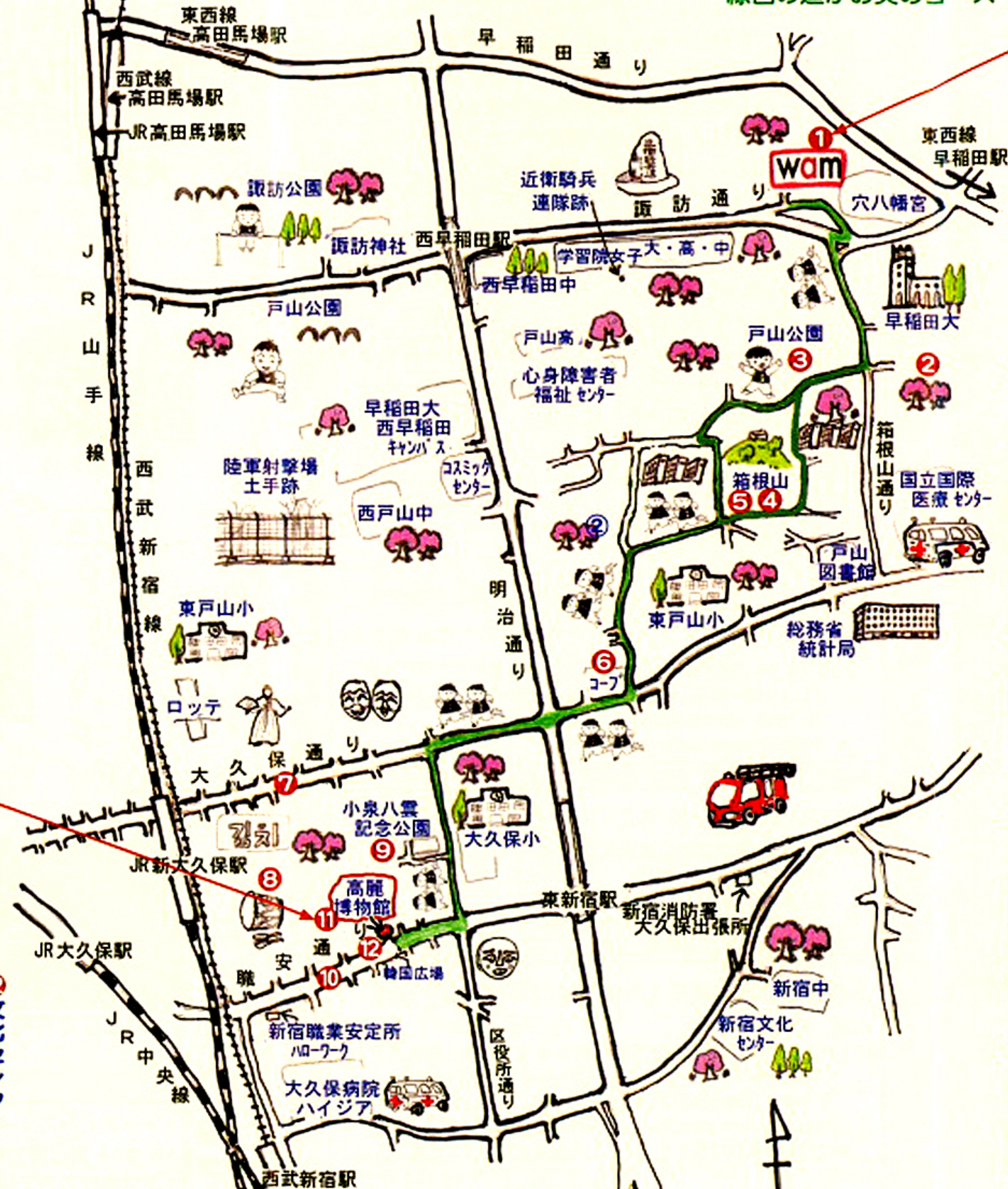


制作

- アクティブ・ミュージアム 私たちの戦争と平和資料館
- NPO法人 高麗博物館 市民がつくる日本・コリア交流の歴史館
- 軍医学校跡地で発見された人骨問題を究明する会

# 大久保・戸山・早稲田 フィールドマップ

緑色の道がお奨めコース



⑦ 大久保通り

共生の街・大久保



⑧ 百人町・大久保の道

鉄砲百人組の住居跡で狭い直線の道が南北に走る。江戸時代から新宿は「軍都」!



⑨ 小泉八雲記念公園

小泉八雲住居跡



⑩ 職安通り

日本有数のコリアンタウン



⑪ 高麗博物館



⑫ 文化センター! アリラン

韓国・朝鮮関連の図書館 (高麗博物館と同じビルの8階)

① アクティブ・ミュージアム 女たちの戦争と平和資料館



② 人骨発見現場・納骨施設 (国立感染症研究所)



1989年7月22日、国立予防衛生研究所建設現場(現国立感染症研究所)から、100体を超える多数の人骨が発見された。中には銃創、切創、鋸断痕も見られた。これらは陸軍軍医学校の人体標本類であるということに厚労省も認め、2002年3月に、感染研内に納骨施設を建立、人体標本類は、今後の調査の可能性を残して安置された。

これらの標本類は、新宿区の鑑定により、多くの外国人を含むことがわかっており、由来がわからないということは検体ではない。731部隊をはじめとする戦時医学犯罪の物証であることは間違いない。



③ 戸山5号宿舎跡 陸軍軍医学校・防疫研究室跡



④ 陸軍戸山学校跡 軍楽学校演奏場



⑤ 陸軍戸山学校跡 将校集会所



⑥ 陸軍幼年学校跡



現在の生協の辺りが正門